

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	24349
事業名	蛍光管・乾電池リサイクル事業費					
評価担当課	所属	環)環境事業部 循環型社会推進			電話番号	2112928
施策名	-					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	蛍光管・乾電池には水銀や亜鉛などの有害物質が含まれており、適正処理・リサイクルを推進していく必要がある。
	事業内容(何を実施し)	家庭から出る廃棄ごみの減量と水銀使用廃製品の適正処理を進めるため、以下の取組を行う。 ①市内の電器店、ホームセンター、スーパーなどの協力店に回収ボックスを設置し、家庭で使用済みとなった蛍光管を分別回収する。 ②びん・缶・ペットボトルの日に乾電池を別袋で分別回収する。 ③回収した蛍光管・乾電池等を(公社)全国都市清掃会議の広域回収処理事業により、処理施設に運搬し、水銀の適正処理及びリサイクルを実施する。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	水銀を含む使用済み蛍光管や乾電池等を分別回収・適正処理・資源化することにより、水銀による土壌汚染等の環境負荷を低減させるとともに、埋立地を延命させる。
	他都市の状況	政令市では札幌市を含む19市で蛍光管の分別回収を実施している。また、札幌市を含む17市で乾電池のリサイクル処理を実施している。
	市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外

令和4年度決算額	69,174 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和5年度予算額	71,869 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和5年度決算額	70,663 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和6年度予算額	69,897 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工

指標	アウトプット活動指標1	回収協力店の店舗数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		221	221	215	195	195	195
	アウトカム成果指標1	蛍光管回収量				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		117t	119t	106t	96t	88t	88t
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方		LEDの普及により、蛍光管の回収量は減少傾向にあるが、市民からは依然として一定の需要がある。				
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
アウトカム成果指標2	乾電池回収量				という状態にしたい、成果を挙げたい		
	令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	359t	336t	366t	355t	355t	355t	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方		令和3年10月に収集方法を変更して以来、乾電池の回収量は増加し、現在は一定の水準に落ち着いている。					

今年度の見直し内容	蛍光管の収集量が少ない回収拠点の回収頻度の見直しを行い、回収に係る委託業務の効率化を図った。
来年度以降の方向性	水銀含有製品等の適正処理・リサイクルのため、蛍光管・乾電池等の分別回収を継続する。